

ご案内

女性が輝く社会のために、10年以上活動を続けています

平成28年度「東京都女性活躍推進大賞」優秀賞受賞

NPO法人Fine (Fertility Information Network=ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、不妊体験者によるセルフサポートグループ「NPO法人Fine(ファイン)」(以降、Fineと表記)は、平成28年度「東京都女性活躍推進大賞」優秀賞を受賞いたしました。本賞は、東京都が、全ての女性が意欲と能力に応じて、多様な生き方が選べる社会の実現に向け、女性の活躍推進に取り組む企業や団体及び個人に対して贈呈するもので、Fineは「地域分野：特定非営利活動法人その他地域を拠点に事業等を実施している団体」において優秀賞を受賞いたしました。これからも、不妊について社会に正しく理解され、不妊当事者が社会から孤立することなく、健全な精神を持ち続けられるような活動をしてまいります。

・TOKYOライフ・ワーク・バランスHPはこちら <http://www.tokyo-wlb.jp/women/taisho.html>

受賞の背景

晩婚化、晩産化が加速する日本において、5.5組に1組のカップルが不妊に悩んでいるといわれており、誰しもが不妊当事者になる可能性があります。それにも関わらず、不妊について社会の理解はまだ十分とはいえず周りに話すことができずに孤独感を抱えてしまう当事者は少なくありません。また、健康保険の適用されない自費診療が多い不妊治療では、金銭的な負担も大きな悩みです。さらに、仕事をしながら治療する人の中には、職場の理解が得られないなどの理由で退職や異動、パートなどに働き方を変えざるを得ない状況もあります。Fineが実施したアンケート(*1)では、当事者の9割以上が「不妊治療と仕事の両立が困難」と答えています。

Fineは、子どもを望む当事者が、社会から孤立せずに、またキャリアを断念することなく治療を続けられたり、自分らしく輝き続けていられるよう、当事者の立場から幅広い世代の方に向けて10年以上にわたり活動を継続してきました。設立当初から不妊当事者のカウンセラー養成に取り組み(*2)、ひとりで悩んでしまいがちな不妊当事者の心のサポートをしたり、アンケートや署名活動などで当事者の声を多く集め、国政や社会、企業に対してポジティブで具体的な提言を行なってきました。女性が真に活躍できる環境整備に貢献していると評価されたと考えております。

*1 「仕事と治療の両立についてのアンケート」プレスリリース http://j-fine.jp/prs/prs/fineprs_ryoritsu508.pdf

*2 不妊ピア・カウンセラー養成講座 <http://j-fine.jp/e-pia/>

今回の受賞の活動

1. 日本初 不妊ピア・カウンセラー養成(*2) 事業及び、不妊ピア・カウンセリング事業

<http://j-fine.jp/activity/counseling/index.html>

- ◆ 不妊に特化した独自のピア・カウンセラーを育成。
2004年の設立当初から、当事者支援としてカウンセリング事業を開始。一般的なカウンセリングでは精神的負担の軽減が難しいケースも多いという実体験から、“不妊当事者が当事者の心のケアをする”重要性に着目し、独自のカリキュラムでカウンセリングに必要な心理学的知識と技術を学ぶ、「不妊ピア・カウンセラー養成講座」を2005年に開講(現在は第十二期開講中)。2015年度までに89名のピア・カウンセラーが誕生しています。
- ◆ 不妊ピア・カウンセラーが全国で活動中。
不妊ピア・カウンセラーによる面接カウンセリング(現在、全国12カ所)や電話相談、グループカウンセリングなど、当事者の心に寄り添う活動を10年以上地道に続けています。
- ◆ 不妊治療の体験談発表やおしゃべり会、妊活イベントなどの実施。
医療機関や自治体からの協力要請も増えています。



カウンセリング紹介カード
(名刺サイズ)



Fine主催の妊活イベント
「Fine祭り」

2. 不妊治療と仕事の両立の環境改善のための啓発事業

Fine妊活プロジェクト～みらい Action ～

<http://j-fine.jp/miraiaction/index.html>

「Fine妊活プロジェクト～みらい Action～」の目的

妊娠・不妊などの情報について「知らなかった」と後悔する人を減らすために、当事者だけでなく、周囲の人々にも妊活や不妊について正しい情報を提供。さまざまな年代・立場の人が理解を深めることで、妊娠環境の向上を目指しています。

◆ 企業向けプログラム

- ①管理職向けの人材育成、コミュニケーション改善、プレマタニティ・ハラスメント対策の研修導入を推進し、女性のキャリアが途切れるのを防ぎ、女性が継続して働ける環境整備をサポートします。企業のハラスメント対策として、当事者が悩みや負担、治療等について具体的に伝えることにより、深く理解してもらい、円滑なコミュニケーション環境整備による解決策などを提示します。
- ②従業員のためのキャリア&ライフプランニングの研修導入を推進し、女性の多様な活躍を実現できる基盤作りのきっかけを提供します。特に将来的に妊娠・出産を希望する若い世代に対して、「知らなかった」「あの時こうしていれば」という後悔を減らすためのプログラムを推進します。

◆ 自治体向けプログラム

広く社会に啓発することで、当事者である女性が働きやすく、多様な活躍ができる基盤作りに貢献します。当事者や家族・親族、地域、医療従事者に対して、実体験に基づいた妊娠や不妊についての悩み、負担、正しい知識などを広く社会に啓発するためのイベント企画等を提示し実施します。

◆ 学校向けプログラム

若い世代に対して、妊娠や不妊の正しい知識、多様な家族形態のロールモデルを紹介することで、女性が柔軟に社会で活躍できる基盤作りを推進します。



2016年2月 横浜市様主催
妊活おしゃべり会@ヨコハマ



2016年10月 日本生命保険相互会社様
職員向け 不妊治療支援セミナー

3. 当事者の実態調査、国政への提言活動

<http://j-fine.jp/activity/act/index.html>

- ◆ 「不妊治療の経済的負担」や「病院選びのポイント」、「仕事と治療の両立について」などのアンケートを実施し、当事者の困っていることやどんなサポートが望まれているかなどの切実な声を集め、国政に対して具体的な要望や不妊に関わる環境改善の提言を継続的に行なっています。「仕事と治療の両立についてのアンケート(*)」では、2,000人以上の声が寄せられ、多くのマスコミにも取り上げられ、現在も問い合わせが続いています。
- ◆ 薬剤に関する要望書を提出し、認可された薬剤により、当事者の時間と金銭的な負担の軽減が実現。さらに「不妊治療と仕事の両立のための環境改善」の提言は、女性が活躍できる社会に貢献。不妊治療と仕事の両立に向けた企業支援の国の取り組みへとつながりました。

国政への働きかけ
当事者アンケート調査で課題を可視化。署名活動により要望書を作成し、
国の制度改革のための提言をしています。

塩崎恭久厚生労働大臣に陳情
2016年2月



要望書と数多くの署名



加藤勝信一億総活躍担当大臣に陳情
2016年3月



不妊治療、仕事と両立へ
制度創設…政府方針

政府が2017年度から、仕事を
続けながら不妊治療を受け
る従業員を支援するための
制度創設に乗り出すこと
が分かった。

(2016年10月12日 読売新聞より)

4. 署名活動 <http://j-fine.jp/activity/act/shomei.html>

◆ 2007年より不妊当事者の環境改善のための署名活動を実施。

不妊治療を受ける患者の経済的負担等を少しでも軽減し、希望する人ができるだけ不妊治療を受けやすくなることを目的として、署名活動を実施しています。第8回目の署名締切：2017年4月30日（月）

【署名項目】

- (1) 特定不妊治療費助成事業より給付される助成金の増額と制度（所得制限・回数制限の緩和）の見直し
- (2) 仕事と治療の両立ができる社会的な理解と環境整備

～Fine会員は約1950名 Fine SNS会員は約1700名（2016年11月現在）～

NPO法人Fine (Fertility Information Network =ファイン) <http://j-fine.jp/>
〒135-0042 東京都江東区木場6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

当リリースや取材・取材協力についてのお問い合わせ：広報窓口 finekouhou@j-fine.jp

*常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです